

取扱説明書

4K対応55型ワイド液晶ディスプレイ
M4K552XDB2シリーズ



ご注意：二人以上で用意・設置する

一人での用意・設置は、けが・本製品の故障の原因になります。

添付品を確認する

- 台座
- 台座取付用ネジ (4本)
※本書と同じ袋に添付
- HDMI ケーブル
- DisplayPort ケーブル
- 電源コード
- リモコン
- リモコン動作確認用電池 (2本：単4形乾電池)
※本書と同じ袋に添付
※動作確認用です。早めに新しい乾電池に交換してください。
- 目隠しシール (2枚)
※本書と同じ袋に添付
※フレーム上の印字を隠せます
- 必ずお読みください

プラスドライバーと手袋をご用意ください

台座の取り付け・設置時の手の保護や滑り止めに必要です。



■VCCI規格について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

■高調波電流規格について

高調波電流規格
JIS C 61000-3-2 適合品

各部の名称・機能

前面



① 操作ボタン：メニューを表示・操作します。
本体ボタンでの設定変更を防止する（メニューロック）… ■ ボタンを3秒間押し続けます。解除の操作も同様です。

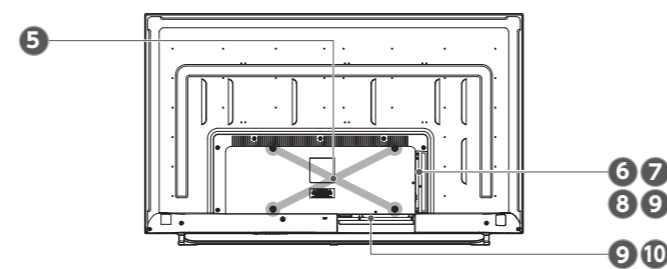
② 電源ボタン：電源を入/切します。

③ 電源ランプ：本製品の状態を表します。

青点灯	電源入	※設定によっては、電源切以外の状態でも消灯するようにできます。
オレンジ点灯	待機状態	
消灯*	電源切	

④ リモコン受光部：リモコンを向けて5m以内かつ上下左右に30°以内で操作してください。

背面



⑤ VESA マウントインターフェース：ディスプレイスタンドなどに取り付けます。(400mm x 200mm)

⑥ イヤホン端子：別途用意したヘッドホンをつなぎます。
※ヘッドホンを装着したままつながないでください。

⑦ 音声入力端子：別途用意したオーディオケーブルで、アナログRGBケーブルでつないだ映像機器からの音声を入力します。

⑧ USB 端子：通常は使いません。システム更新に使用します。

⑨ 映像入力端子 (HDMI 1/2/3、DisplayPort、アナログ)：映像機器からの映像と音声を入力します。(アナログは映像のみ)

⑩ 電源端子：添付の電源コードで電源コンセントにつなぎます。

台座を取り付ける・設置する

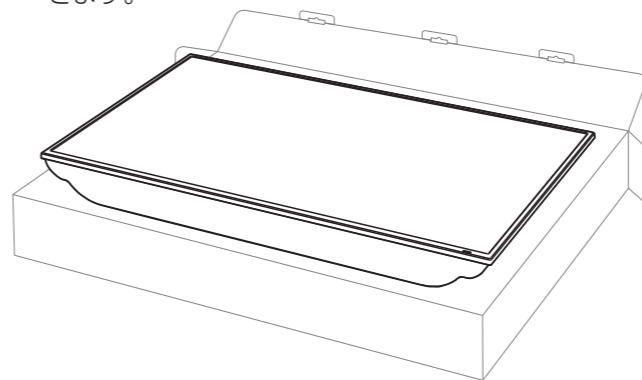
画面割れにご注意ください

- 液晶パネル (画面) に傷つかないように、本書に従って組み立ててください。
- 作業を行う前に、液晶パネルが周囲の棚や壁など障害物にぶつからないスペースを確保してください。



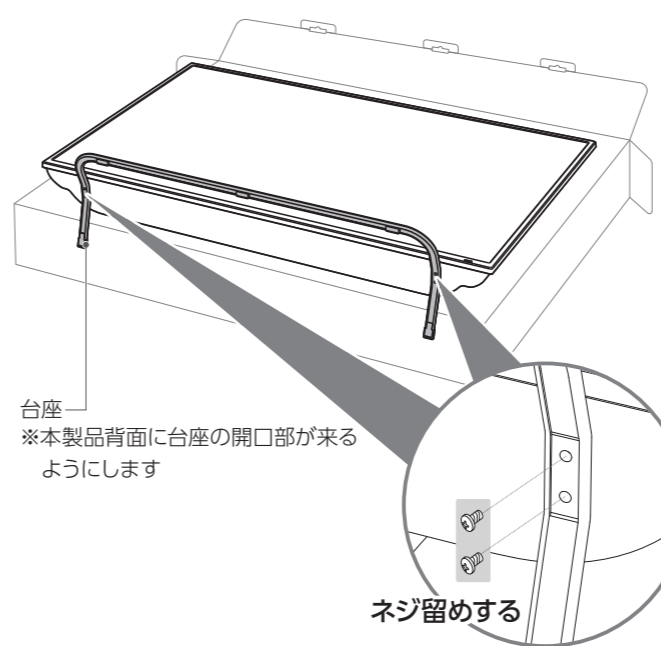
1 個装箱の上に置く

液晶パネル (表示面) を上にして、個装箱の上に置きます。



2 台座を取り付ける

- ① 本製品底面のネジ穴に台座を合わせる (本製品背面側に台座の開口部が来るようにする)
- ② 2か所×2つ、計4つの穴をネジ留めする

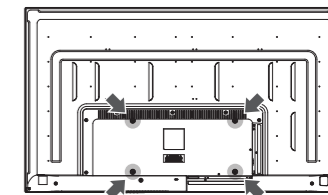


台座
※本製品背面に台座の開口部が来るようにします

ネジ留めする

ディスプレイスタンド (VESA) に取り付ける場合

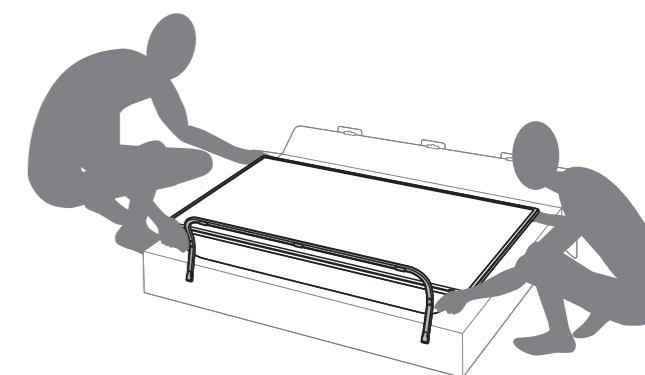
- 固定用ネジ:M6×10mm (ディスプレイスタンドの金具の厚みにより異なる)
- 本製品質量:約14.2kg (台座除く)
- VESAマウントインターフェース: 400mm×200mm
- 締付けトルク: 0.9~1.1N・m (9~11kgf・cm)



※本商品を縦方向で使用の際は、ボタンが左側 (電源ランプが下側) になるように取り付けてください。また液晶パネルが垂直になるように取り付けてください。
※VESA 取付の際は、液晶パネル (表示面) が破損しないように注意しながら液晶パネルを下にし、個装箱や柔らかい布の上に置いて作業してください。
※ドライバーを使ってネジを締付けください。スパナーなど他の工具で締付けると、ネジ穴が破損する恐れがあります。

3 机の上などの平らな場所に設置する

- ① 本製品の左右から片方の手で背面カバーを支え、もう片方の手で底面 (台座の左右辺り) を持ち上げます。設置場所まで運びます。
- ② 台座を設置場所に当て、ゆっくりと背面側を持ち上げながら本製品を設置します。



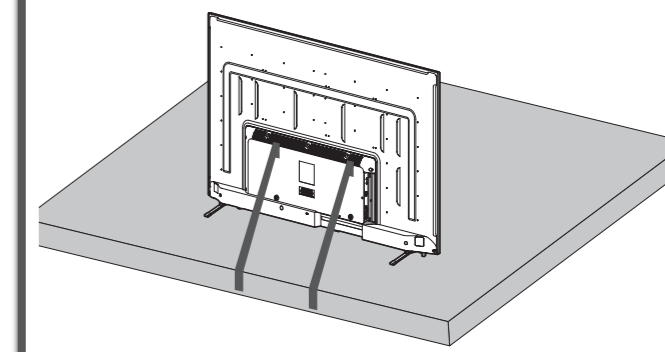
液晶パネルを掴まない

液晶パネル (画面) が破損する恐れがあります。



転倒対策をおすすめします

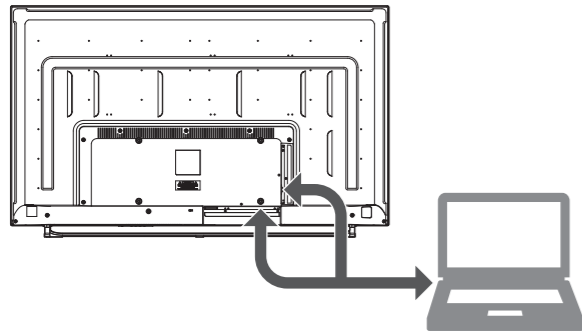
大きな地震などの際には、本製品が倒れる危険があります。本製品転倒の際に大けがをされるおそれがありますので、市販のテレビ用転倒防止グッズなどで転倒対策をされることをおすすめします。



1 パソコンや映像機器と映像ケーブルでつなぐ

HDMIケーブル / DisplayPortケーブル / アナログRGBケーブル (別途用意) のどれかを使います。

※ アナログRGBケーブルでつなぐ場合、オーディオケーブル (別途用意) で本製品の音声入力端子ともつないでください。



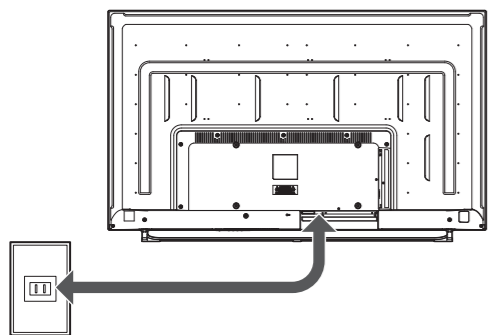
映像入力端子と解像度

映像入力端子	最大解像度
HDMI 1	3840x2160 (60Hz)
HDMI 2/3	3840x2160 (30Hz)
DisplayPort	3840x2160 (60Hz)
アナログ	2048x1152 (60Hz)

※ 動きが早い映像をHDMIで扱う場合、HDMI 1につないでください。

2 電源コードを電源端子に挿し、電源コンセントとつなぐ

※ 奥までしっかりと差し込んでください。



ご注意:アースについては以下を守る

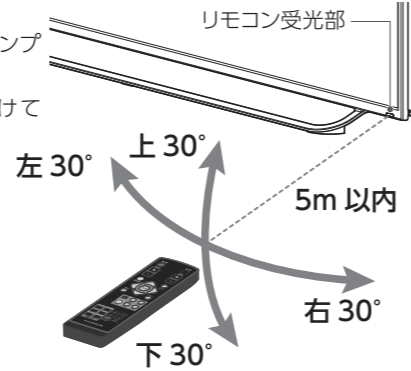
- 必ずアースをつないでから、電源プラグをコンセントにつなぐ
 - 電源プラグを抜いてから、アースを外す
- 守らないと、発火・感電の原因になります。

リモコンに電池をセットする

リモコンの裏フタを開け、単4形乾電池を2本セットしてください。

リモコンの操作範囲

リモコン受光部は電源ランプのところにあります。リモコンを受光部に向けて5m以内かつ上下左右に30°以内で操作してください。



映像の情報を表示する / 閉じる

表示する映像を切り換える (入力切換)

※ 子画面の映像は、「子画面」枠の「入力切換」で切り換えます。

子画面を使う (子画面)

通常の画面 (親画面) とは別で、他の入力の映像を「子画面」として表示できます。

子画面を表示する
子画面の状態を切り換えます。
PIP→PbP→切→PIP...

子画面の映像を切り換える

子画面のサイズを変更する (3段階)



子画面の位置を変更する



親画面と子画面を入れ換える

音声を切り換える (親画面⇔子画面)

設定については『詳細ガイド』をご覧ください



<https://www.iodata.jp/lib/manual/m4k552xdb2/>

HDMI 機器をリモコンで操作する
HDMIケーブルでつないだ機器を、本製品のリモコンで操作することができます (CEC 機能)。

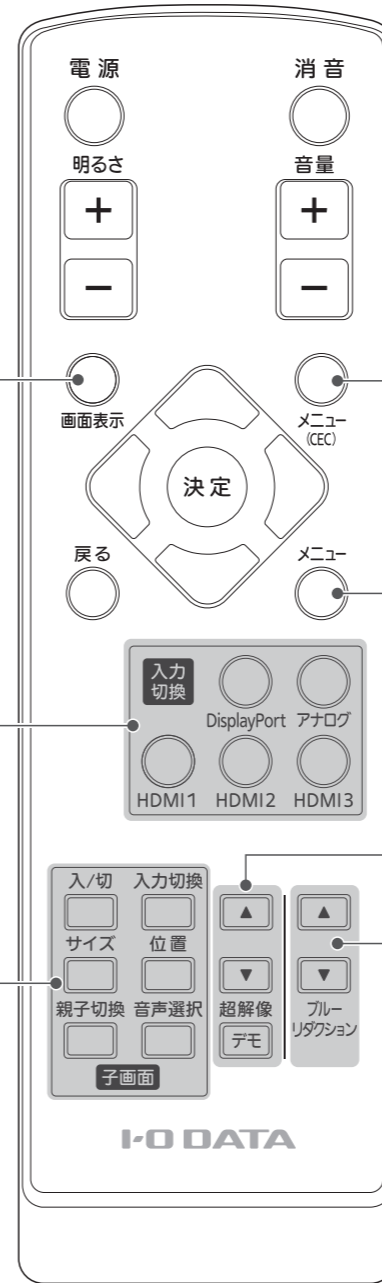
詳細ガイド



詳細な設定をする
メインメニューを開いて、様々な設定をします。

映像をくっきりと表示する (超解像)
映像の解像感を高め、映像の輪郭をくっきりと表示します。解像度の低い動画を見るときなどに、映像のポケを低減します。
デモ (デモモード):
画面の右側だけに超解像処理した映像を表示します。超解像の効果を確認するのに使います。

ブルーライトを低減する (ブルーリダクション 2)
パソコンで作業をする際に目が疲れる原因とされるブルーライトを低減します。



PIPとPbP

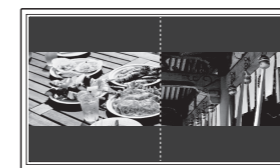
PIP

親画面内に子画面を表示します。



PbP

親画面と子画面を並べて表示します。
※ [サイズ] [位置] は機能しません。



困ったときには

よくあるお問い合わせをご確認ください。
AIチャットでいつでもお困りごとを解決します。



<https://www.iodata.jp/support/qa/lcd/>

